

じゅうもんじがくえんじょしだいがく

十文字学園女子大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	担当	実施 時期	曜日	時限	定員	備考
グループダイナミクス	風間 文明	前期	金曜	2 限	若干名	1 限 9:00～10:30 2 限 10:40～12:10 3 限 13:00～14:30 4 限 14:40～16:10 5 限 16:20～17:50
恋愛と結婚の科学	山下 倫実		水曜	2 限		
障害児・者の心理臨床	伊藤 恵子		金曜	2 限		
コミュニケーションの心理学	綿井 雅康		水曜	1 限		
リハビリテーション論	布施 晴美		金曜	2 限		
身体運動の心理学	平田 智秋		月曜	4 限		
異文化コミュニケーション	田総 恵子		金曜	4 限		
教育学概論 A	狩野 浩二		月曜	2 限		
教育方法 A	狩野 浩二		月曜	3 限		
特別支援教育概論	齋藤 忍 他		水曜	5 限		
表現活動（基礎）	狩野 浩二 他		火曜	3 限		
地域福祉論 I	佐藤 陽		金曜	4 限		
ボランティア・コーディネーション	佐藤 陽		木曜	2 限		
社会福祉概論 I	片居木 英人		月曜	4 限		
社会保障論 I	片居木 英人		月曜	3 限		
社会福祉の歴史	太田 眞智子		火曜	2 限		
食品機能論	中村 禎子		月曜	4 限		
ビジネス経済学	込江 雅彦		金曜	3 限		
日本と異文化	小林 実		火曜	4 限		
日本語学入門	星野 祐子		月曜	3 限		
日本語学 A	星野 祐子		月曜	2 限		
日本語学 B	松永 修一		水曜	3 限		
色彩とデザイン	加藤 暁子		金曜	4 限		
舞台芸術 A	清水 玲子		金曜	2 限		
神話・伝承学	武田 比呂男		水曜	3 限		
図書館概論	石川 敬史		金曜	5 限		

※上記時間割は2/22現在のものになります。急な時間割変更が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。

※各科目とも授業は15回の予定です。

※授業は4月10日（月）から開始しますが、一部変則的な取り扱いがあります。

(2) 場所

十文字学園女子大学

〒352-8510 新座市菅沢 2-1-28

[アクセス方法]

- JR 武蔵野線新座駅下車、徒歩 8 分
- 東武東上線「志木駅」発「清瀬駅」行きバス
- 西武池袋線「清瀬駅」発「志木駅」行きバスともにオリエンタル酵母工業前下車、徒歩 5 分



※駐車場のご用意が出来ませんので公共の交通機関でのご来校をお願いいたします。

2 受講料等

(1) 受講料 1 科目（半期）につき 10,000 円

(2) その他 教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます。

（講義概要に教科書についての記載がない場合も、必要になる場合があります。詳しくは第 1 回目の授業で担当教員から説明があります。）

3 受講の申込み

(1) 申込期限 平成 28 年 3 月 18 日（土）（消印有効）

(2) 申込先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

十文字学園女子大学 地域連携推進課

電話：048-477-0958（直通）

(3) 申込方法

往復はがきに以下の事項をもれなく記入の上、郵送でお申込みください。

- (1) 住所
- (2) 氏名
- (3) 性別
- (4) 年齢（平成 29 年 4 月 1 日現在）
- (5) 電話番号
- (6) 受講希望科目・担当教員名（何科目でも可）

(4) 選抜方法

定員を超える場合または多数の申込みがあった場合には、抽選により受講者を決定します。（受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。）

4 各授業科目の概要及び担当教員

グループダイナミクス (風間 文明准教授)	グループダイナミクスとは、集団および集団成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の 1 分野です。本講座では、集団内での人間行動に関する心理学的知見を平易に解説します。具体的には、集団の形成、集団規範への同調と逸脱、集団合議による意志決定、リーダーシップなどの問題を取り上げる予定です。
恋愛と結婚の科学 (山下 倫実講師)	親密な異性関係（恋愛関係・夫婦関係）は人にとって極めて関心の高い関係です。本科目は、社会心理学の分野で明らかになっている恋愛や夫婦関係に関する科学的なデータを示し、恋の始まりから終わりまでを解説します。また、近年の結婚に対する価値観や生活環境の変化によって影響を受ける夫婦関係についても取り上げる予定です。日常の中で起こる現象を「科学的」に見る力を養います。
障害児・者の心理臨床 (伊藤 恵子教授)	障害による機能的制約は、環境によって異なるため、適切な支援を行うことは極めて重要です。本科目は、適切な支援を行うための学習を通し、自らの生き方を考えます。具体的には、各障害の診断基準及び心理学的特徴に関して学習後、各障害の特徴に配慮した支援について受講者とともに考えていきます。『教育・保育・子育て支援のための発達臨床心理学』伊藤恵子著文化書房博文社を使用します。
コミュニケーションの心理学 (綿井 雅康教授)	私たちが日常生活のなかで何気なく行っている様々なコミュニケーションを心理学の視点から客観的にとらえ直します。コミュニケーションのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのかについて、明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べます。
リハビリテーション論 (布施 晴美教授)	リハビリテーションの基盤となる理念は、人権の保障であり、心身に障がいのある人々が残存能力を発揮し、潤いのある豊かな生活を実現することです。本授業では、リハビリテーションに関する基本事項について学習し、ノーマライゼーションの原理やQOLに視点をおき、リハビリテーションを通して機能回復を図るばかりではなく、人間らしく生きる権利の回復を図ることについて理解を深めることを目的とした講義を展開します。また、心理面におけるリハビリテーションについても触れます。
身体運動の心理学 (平田 智秋准教授)	身体と心、脳に関する話題を概観しながら、柔軟な人間観を養います。心について深く考えるには、身体運動の基礎知識が不可欠です。大まかな内容としては、1)身体が動く仕組み（筋骨格系から脳までの機能と構造）、2)運動制御と運動学習の仕組み、3)身体運動と心理学との関わりを学び、改めて人間を見直し、心の多様さについて考えます。純粋な講義ではなく、簡単な実験や演習を折り込みながら授業を進めます。
異文化コミュニケーション (田総 恵子教授)	異なる文化的背景の人と出会ったとき、うまくコミュニケーションができないと感ずることがあります。それは、手段（言語、非言語）が充分でないから、それとも、考え方（文化）が違うからなのでしょう。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探ります。
教育学概論A (狩野 浩二教授)	教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。テキストは田嶋一他編『新版補訂版やさしい教育原理』（有斐閣）です。教育の思想や歴史について、最新の教育学研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは各自購入してください。

教育方法 A (狩野 浩二教授)	教育職員免許法に定められた教職に関する科目です。将来、教員を目指す学生が受講します。テキストは横須賀薫他編『新訂教育の方法・技術』（教育出版）です。教育に方法や技術が必要なのはどうしてなのかという課題について、最新の授業研究に関する成果を踏まえて考察します。テキストは各自購入してください。
特別支援教育概論 (齋藤 忍准教授 他)	特別支援教育の推進に向けた取組が進む中、地域の通常の学校（学級）においても、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が求められています。本講義では、特別支援教育の歴史、法制度を概観するとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に関して、その障害の特性と支援方法を論じ、関係機関との連携の在り方を学びます。
表現活動（基礎） (狩野 浩二教授 他)	教員を目指す学生たちに対して、教員として必要となる基礎的な表現力を養う科目です。教材は教室で配付します。斎藤喜博作詞、近藤幹雄作曲『利根川』（合唱曲集『子どもの四季』1979 年、一莖書房所収）という作品を学生と一緒に学びます。歌唱や朗読などの表現活動に関する基礎的な技法を指導します。最終発表会は近隣の小学校等に出向いて行う予定です。
地域福祉論 I (佐藤 陽教授)	地域の中で孤立する人々の問題がクローズアップされ、人と人との絆が改めて問われています。本論は、地域における人と人とのつながりの再構築と、様々な人や機関・団体の協力によって支え合う仕組みづくりに関する施策や地域福祉活動実践の実際から、地域福祉の考え方や推進する方法について学び、社会的包摂と共生のまちづくりの実現に向けて取り組む姿勢を養います。
ボランティア・コーディネーション (佐藤 陽教授)	人と人とのつながり、人と社会のつながりが求められる今日、自ら主体的に参加する「支え合い」の営みの 1 つにボランティア活動があります。本科目は、ボランティアとその活動推進に必要なコーディネーションの基本を理解します。
社会福祉概論 I (片居木 英人教授)	社会福祉の核心は「生存権とその保障としての国家責任の明確化」にあります。日本国憲法 13 条、14 条、25 条の理念をしっかりと社会福祉に活かしていくことが大切です。この授業はそこを踏まえながら公助・共助・自助をどのように組み合わせる現代の社会福祉を考えるのか探っていきたいと考えています。社会福祉へといたる歴史的展開にもふれながら分かりやすく、あらためて「社会福祉とは何か」についてみなさまと一緒にその理解を深めてまいります。
社会保障論 I (片居木 英人教授)	今、あらためて社会保障の存在意義が問われています。憲法 25 条の生存権保障と公的責任の明確化は、ますますその重要度を増しています。公的部門を中心とした社会的セーフティネットの制度設計をどのように組み立てていくのか、課題が大きく横たわっています。本授業では、社会保障の理念、役割、意義、範囲等への理解を深めていくなかで、負担と給付のあり方を問い、分権型福祉国家像の構築の可能性を探っていきたいと考えています。
社会福祉の歴史 (太田 眞智子准教授)	私たち自身や身の回り、社会の動きすべては歴史性を持っているといっても過言ではありません。そして社会福祉を学ぶとき、知ろうとするときには歴史的視点・理解が大変大きな意味を持っています。現在の社会福祉の基礎となった歴史、先人の業績を学び、未来を志向する一助となれば、と考えています。（テキスト：『よくわかる社会福祉の歴史』清水紀恵他・ミネルヴァ・¥2,600）

食品機能論 (中村 禎子准教授)	品の機能性の探索や機能性を具備した食品開発は、我が国のみならず国際的にも関心が高い分野です。食品の機能性はその安全性を同時に考える必要があります。本講義では、具体的な実験データなどを提示して食品の機能性と生活習慣病を中心とする疾病との関連性を概説します。科学的根拠の考え方を学習することにより、食品の安全性と機能性の理解を深め、自ら判断する力を身につけられるように学習します。
ビジネス経済学 (込江 雅彦准教授)	現在の様々な経済問題を考察するうえで基礎となる考え方を講義します。そのため、現実にかきた問題、世界金融危機や消費税増税に見る財政赤字の問題、経済連携の動きなどから経済学の理論を講義し多様な考え方を知り自ら考える力を養うことを目指します。
日本と異文化 (小林 実准教授)	古代から近代までの日本の歴史を、海外文化交流の観点から論じていきます。列島の地政学的条件によって、大陸との交流、南蛮文化の移入、西洋近代制度の模倣など、日本は常に「先進文化」の影響を受け続けてきました。またそれとの距離の取り方にも長けてきました。日本文学史や美術史研究のための基礎科目なので、それほど深い内容は扱えませんが、日本史を学び直す機会として受講されることをオススメします。
日本語学入門 (星野 祐子准教授)	私たちにとって日本語は無意識的な存在。その無意識的な日本語に対し意識的になることがこの講義の目的です。講義では、音声・語彙・文法・方言などの観点から、日本語に関わる興味深い話題を取り上げます。日本語の奥深さを実感できるはずです。テキストは『やさしい日本語のしくみ』(庵功雄他著 くろしお出版 2003年)を使います。
日本語学A (星野 祐子准教授)	日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探ります。また、現代語から切り離された過去の言語活動として古いことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていきます。テキストは『日本語の歴史』(山口仲美著 岩波新書 2006年)を使用します。
日本語学B (松永 修一教授)	日本語の面白さを知る！母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で？どうして？を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。*講義だけでなく、グループワーク有
色彩とデザイン (加藤 暁子准教授)	虹が七色に見える現象など、電磁波の中で人の目に見える限られた波長を可視光と呼びます。色は状況によって変化して見える現象で、また、色彩感覚やデザインには表情があります。それら色とデザインの性質を学び、最も効果の上がるような表現力を科学的に学びます。インテリアや服飾デザインも題材にします。
舞台芸術A (清水 玲子教授)	ニューヨークやロンドンと同じく日本でも最近ミュージカルの観劇人口が増え、外国作品だけでなく日本のオリジナル作品もたくさん上演されています。本講座では、オペラから発展し20世紀にアメリカで始まったミュージカルを、歴史と音楽を中心として、また作品の傾向などを分析していきます。希望者のみ観劇予定もあります。

神話・伝承学 (武田 比呂男教授)	神話・伝承って、どんなイメージでしょうか？面白い、でも荒唐無稽で実際にはあり得ないお話？モノガタリする存在である人間は、神話や伝承によって、世界と自分たちの関係を理解し、調整しながら生きてきたのです。『古事記』『風土記』などの神話やさまざまな伝説・昔話、寺社縁起などを読み、その独自の表現や想像力の働き方を理解し、神話や伝承を生み出した人々の精神世界を探求します。 (テキスト：斎藤英喜編『神話・伝承学への招待』思文閣出版、税別 2,300 円)
図書館概論 (石川 敬史准教授)	近年、各地で魅力的な図書館空間（建築）や図書館活動がみられるようになりました。現代社会の中で図書館は、どのような意義があり、どのような役割があるのでしょうか。本科目は司書資格取得を目指す入門的な科目ですが、図書館の役割をはじめ、図書館に関わる法律、歴史、利用者、司書などを幅広く取り上げ、未来の図書館像をともに考えます。(テキスト：塩見昇『図書館概論』四訂版、日本図書館協会、2015 年、税別 1900 円)